



中央大学学員会 上海支部日本校友会（上海白門会日本校友会）

2015年 第2回定例会報告

服部豊・高崎博・横山航介

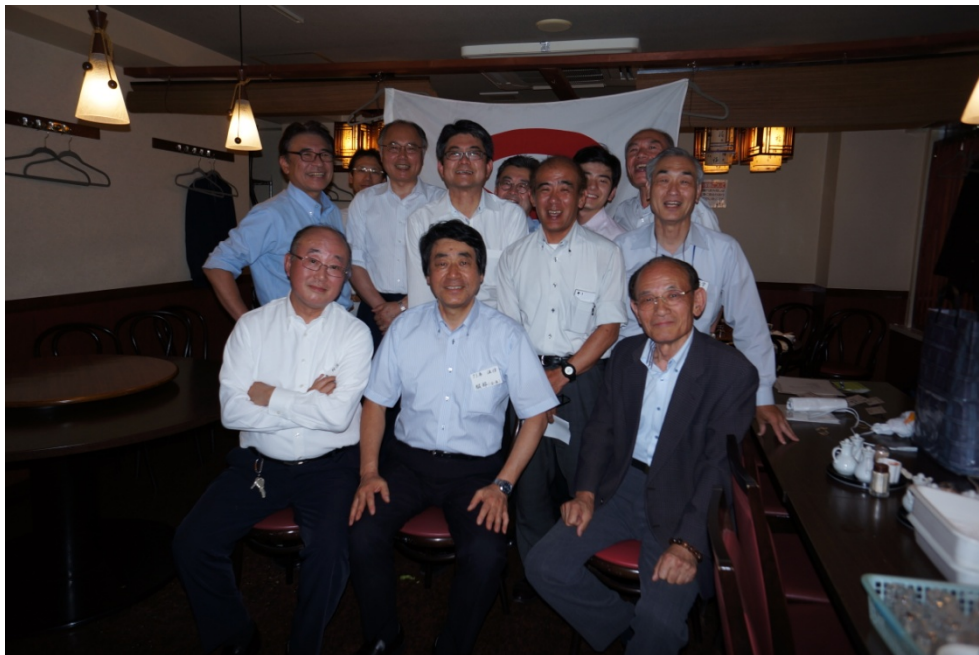
1. 期日 : 2015年6月4日(木) 19:00-21:30
2. 場所 : 中華料理「大福樓」(千代田区内神田)
3. 出席者 : 泉(66 理)、星加(74 商)、服部(75 法)、鳥本(75 経)、渡邊(79 理)、森田(79 理)、村瀬(81 法)、吉野(81 商)、内田(82 法)、中西(84 理)、高崎(94 商)、横山(法3年) (敬称略)
4. 式次第 : ①開会挨拶 日本校友会会長(服部)  
②乾杯発声(村瀬)  
—歓談1—  
③上海近況報告(泉)  
④1分間近況報告(5人)  
—歓談2—  
⑤1分間近況報告(6人)  
⑥幹事団からの事務連絡  
i) 事務連絡/案内(渡邊/鳥本/星加)  
ii) 第3回定例会の案内  
⑦校歌斉唱  
⑧閉めの言葉(内田)  
⑨記念撮影(鳥本)

5. コメント :

年に4回の定例会。今回は場所を本拠地に戻し、神田のお馴染みの“ラオパイシンダ・ラオティーファン”で行いました。嬉しいことに今回も前回に続き、現役学生の横山君(法3年)も参加してくれました。いやー、中には父親以上に年齢差がある大先輩メンバーもいらっしやる中、各先輩による近況報告の全てに真剣に耳を傾け自ら何かを得ようとしている姿にメンバーも感銘、この未来ある現役青年後輩に各種アドバイスを含む近況報告もなされました。相変わらず政府間の日中関係は、“不太好”しかし、習近平国家主席は、5月23日、人民大会堂で3000人超日本からの民間訪中団との中日友好交流大会の席上でこう言っていました。“若者が元気で国は栄える、きょうの大会の出席者の中に若い友人が少なくありません。中国政府は両国の民間交流を支持し両国各界の人々、特に若い世代の人たちが中日友好事業に勇躍身を投じ、交流と協力の中で理解を増進し相互信頼を築き、友情を発展させるよう励ましています・・・”と・・・急ぎよ、つい最近直接聴いた習主席の言葉をそのまま借りて、習主席からのメッセージを横山君や中大現役学生の皆様に送らせていただきました(笑)。泉さんお大事に。中西さん、更なる夢への挑戦頑張ってください。(服部豊 記)

今回も上海白門会にお招きいただきありがとうございました。何か疑問点を質問すると一つ以上のことを熱く教えて下さり、今回も大変勉強になりました。また大先輩のお話や姿を見て尊敬するとともに自分も今後の活動により熱を入れていきたいと思いました。自分にとって刺激的な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。この場をお借りしてお礼申し上げます。（横山航介 記）

参加メンバーの高齢化が進む中、今回は横山さんが平均年齢をぐーんと引き下げてくれました。やっぱりこのような集まりは縦のつながりこそが重要だと思いますので、今後も幅広い年代の方々が集う会に出来たらと思います。それから心年齢20歳の泉大先輩から、生活の拠点を中国から日本に移す旨のご報告を頂きました。これまでも十分出席率は高めでしたが、今後はそれ以上に参加頂く機会が増えるとのことで楽しみです。（高崎博 記）



2015. 6. 06 日 中央大学学員会上海支部日本校友会 2015 年第 2 回定例会

<後列左から>

吉野・高崎・内田・森田・村瀬・中西・横山・星加・渡辺

<前列左から> 鳥本・服部・泉

以 上